

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/10/05

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.90	-0.16
JPY/THB	0.2475	-0.0012
USD/JPY	149.12	0.10
EUR/THB	38.77	-0.03
EUR/USD	1.0504	0.0037
USD/CNH	7.316	-0.006
SGD/THB	26.90	-0.08
AUD/THB	23.34	-0.02
USD/INR	83.24	0.03
USD Index	106.80	-0.20

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.860	0.071
10Y (THB)	3.367	0.127
5Y (USD)	4.724	-0.075
10Y (USD)	4.733	-0.063

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,818.5	-6.1
WTI (Oil)	84.22	-5.01
Copper	7,949.5	-57.0

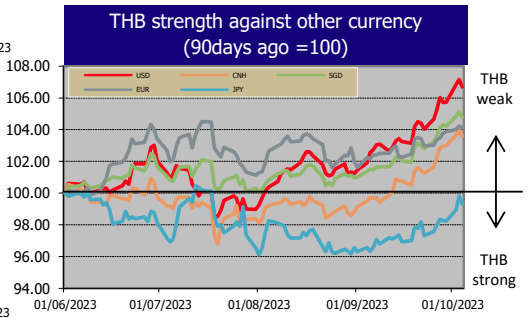
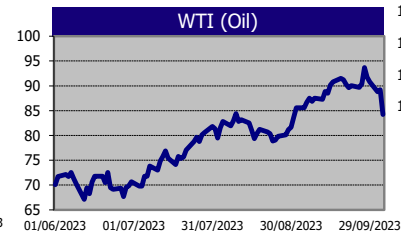
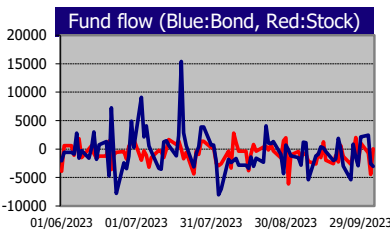
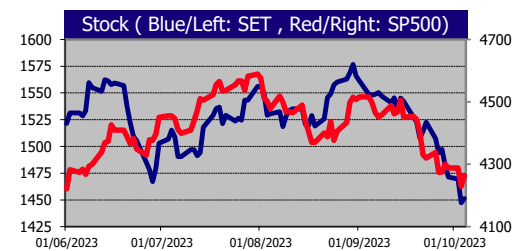
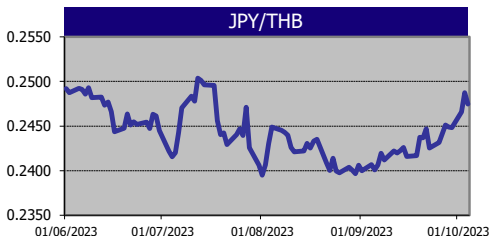
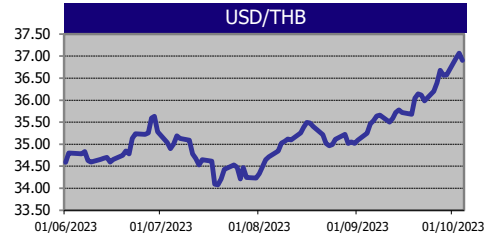
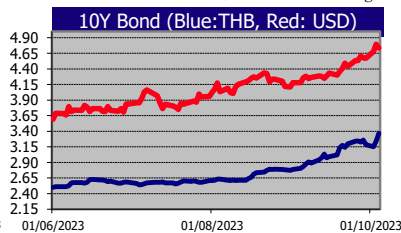
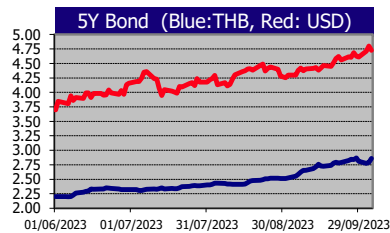
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,451.25	3.95
NIKKEI (JP)	30,526.88	-711.06
DOW (US)	33,129.55	127.17
S&P500 (US)	4,263.75	34.30
SHCOMP (CN)	3,110.48	0.00
DAX(GER)	15,099.92	14.71

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	34	4474.6
Bond net flow	(3,049)	-500.7

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。37パーツ前半でスタートしたドルパーツは、米金利の動向に連れる展開に。バンコク時間午後にかけて米金利が上昇すると、ドルパーツも連れる格好で年初来高値を更新。ただ、その後は米金利の上昇がようやくの一服となる中でドルパーツも下落に転じ、海外時間には37パーツを割り込む動きを見た。米9月ISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことが確認された場面では37パーツ台を回復したものの、指標結果の内訳において雇用や新規受注に係る指数が前回対比下落していることが徐々に材料視され再び36パーツ台後半まで戻すと、終盤にかけては同水準での推移が継続し、そのまま36.90レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円はほぼ変わらず。149円台前半で取引を開始すると、じりじりと上昇するも前日の急落もあってか上値の重さが意識される展開に。ただ、下値では拾われる地合いは変わらず、バンコク時間午後には米金利の低下とともにドル円も148円台後半まで下落した場面では直ぐに149円台前半に戻すなど、狭いレンジでの推移が継続。海外時間に入っても強弱入り混じる米経済指標の結果に149円ちょうどを挟んだ推移が続き、結局149.12レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

足許市場では先行きの不確実性が高まるニュース、事象が相次いでいる。10月3日、米下院議長(共和党)が党内の造反の動きで解任された。この史上初の解任劇は米国の連邦政府支出に関する政治的不確実性を高める公算が大きく、債券市場では今後政府機関の閉鎖や米債の格下げまでも意識した神経質な地合いに警戒が必要だろう。また、同日ドル円は150円を突破した直後に3円近く急落した。介入が意識される値動きだが日本政府の当局者は相次いで明言を避けている。介入の有無はともかく、少なくとも為替市場に疑心暗鬼のムードは広がっており、円安一辺倒だったこれまでのトレンドに不確実性を生じさせた事象であったと考えている。時間は前後するが同日タイではバンコク市内の中心地で発砲事件が発生した。この事件がタイGDPの10%を占めると言われる観光収入、特に中国からの旅行者に影響を及ぼすとの報道もあり、個人によるパーツ買い需要への影響もさることながらタイの今後の経済見通しの重しとなるか注視する必要がある。目先市場では明日発表の9月米雇用統計に注目が集まると見られるが、至る所で不透明感が強まりつつある今の相場には従来以上に急変リスクに警戒感を持っておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.